札幌国際大学　人文学部

国際教養学科 vol.16

発行：2023年10月

2023（令和５）年度秋学期入学式・オリエンテーション
国際コミュニケーションコース2年生夏休みフィールドワーク

2023年10月２日に札幌国際大学の秋学期入学式が開催されました。
日本では新学期は4月からですが、海外での新学期は10月からという国も多くあります。したがって9月に海外で高校を卒業した留学生などを受け入れるために当大学では10月入学の制度があります。国際教養学科では2名の中国からの留学生が新たに1年生の仲間に加わりました。札幌国際大学には201名の留学生が居ます。留学生と共に学び、積極的に交流して国際性を向上させることができます。

＜夏休みフィールドワーク①苫小牧＞

札幌国際大学の夏休みは8月第一週に行われる試験後、9月いっぱいを夏休みとして設定しています。フィールドワークを実施したり、海外短期研修、集中講義に参加するなど、様々な経験の機会を増やすためです。今回はそのなかからフィールドワークを2件紹介します。一つ目のフィールドワーク先はイチゴの植物工場「苫東ファーム㈱」―20年間利用可能な200mのビニールハウスは壮観です。発育状況、二酸化炭素、日照量、湿度、温度、液肥の5次元でデータ集積し、北海道の優位性を活用して経営する先端工場でした。また新千歳空港から輸出にもチャレンジしています。

＜夏休みフィールドワーク②千歳＞

二つ目は半導体製品等に利用される素材メーカー「㈱FJコンポジット」です。私たちの生活で欠かせないスマホ、PC、自動車、地下鉄など全ては半導体なしでは機能しません。その半導体を巡る国際情勢などを事前勉強しました。そして官民挙げて設立されたラピダスが誘致された千歳市で半導体の性能を維持し向上させる素材メーカーを見学しました。当社の完成品の多くは輸出されています。ここでも輸出の輸送は飛行機によるもので、新千歳空港空港の貢献が大きいことが分かりました。北海道の可能性を大きく高めることにチャレンジしている企業を見学して、卒業後のキャリアパスを考えることが出来ました。

＜秋学期オリエンテーション＞

10月3日は秋学期のオリエンテーションが実施されました。春・秋学期の初めには1年生から4年生まで必ずオリエンテーションが実施され、学生全員は大学生活でのPDCAを行います。
今回のオリエンテーションでは北海道庁総合政策部国際課担当者から、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の説明会を実施していただきました。この基金は北海道の企業などが官民で北海道に貢献する若者の海外留学を支援する制度です。この様な制度を活用し、留学にチャレンジする自らのキャリアパスを検討する良い機会でした。